

# 部品交換要領書

店舗土間引戸 TH7・7TH・2・9TH・3TH・  
STH-3・3FH-V鎌錠障子タイプ用  
**召合せ 内締り錠**

HHW15-011  
2015年11月発行



## 作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。  
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。  
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

## 作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。  
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)  
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

## 安全上の注意事項

### お願い

強風や大雨など悪天候時は、引戸が急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。  
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。  
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。  
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

## 同梱されているもの

召合せ 内締り錠  HH-K-19583 HH-J-0431 HH-J-0434 召合せ内締り錠：1個	取付ねじ  召合せ 内締り錠 取り付け用：2本	部品交換要領書 <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 10px auto; text-align: center; line-height: 60px;">                     本書                 </div> 1枚
--	---	---

## 作業のために準備していただくもの

プラスドライバー   1本	セロハンテープなど 
--	---

※部品が全てそろっていることを確認してください。

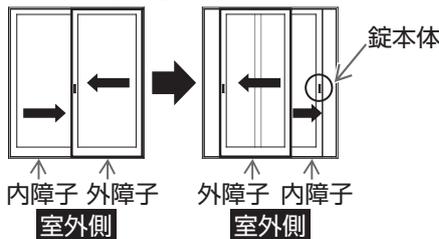
## 部品の取りはずし方

### お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。  
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

### 1 引戸を開ける

#### 2枚建の場合



室外側より内障子と外障子を行き違わせて錠本体を見えるようにする。

#### 3枚建の場合



室外側より中央の障子を外障子側又は内障子側に開けて左右の錠本体を見えるようにする。

#### 4枚建の場合



室外側より左右それぞれの内障子と外障子を行き違わせて左右の錠本体を見えるようにする。

※部品の取り付け方は3・4ページをご覧ください。

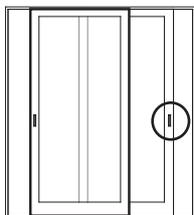
## 部品の取りはずし方

### お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをすることがあります。  
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

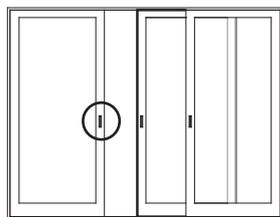
## 2 召合せ 内締り錠本体 (室外側) 位置のマーキング

### 2枚建

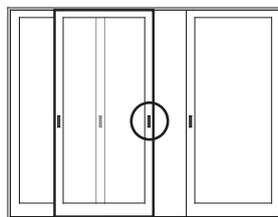


内障子

### 3枚建



内障子



中央障子

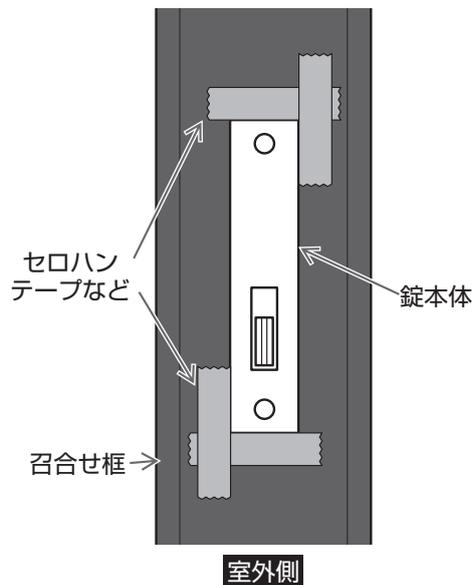
### 4枚建



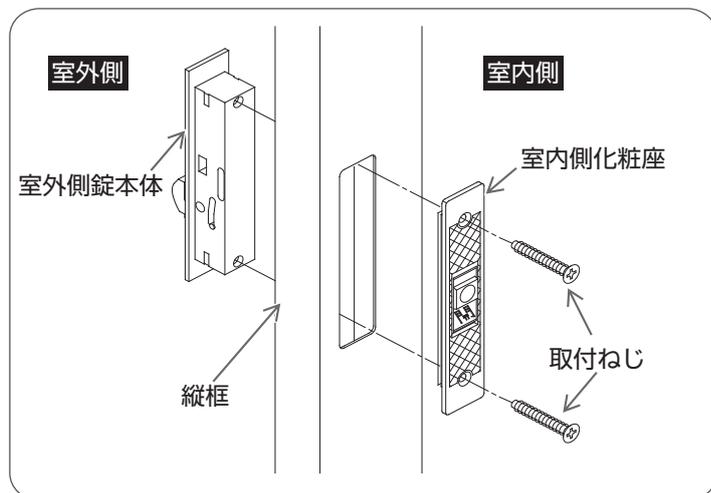
左内障子

右内障子

召合せ框の室外側に取り付いている錠本体の角部にセロハンテープなどを使って取り付け位置に印を付ける。  
※錠取り付け時の位置合わせに必要な手順です。必ず行ってください。



## 3 召合せ 内締り錠の取りはずし



室内側よりプラスドライバーで取付ねじをはずし、部品をはずす。  
※取付ねじをはずすと、室外側化粧座が外れます。落下にご注意ください。

※部品の取り付け方は3・4ページをご覧ください。

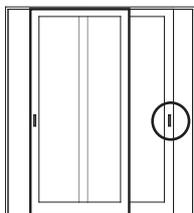
## 部品の取り付け方

### お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。  
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

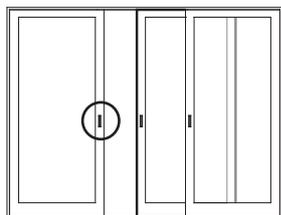
## 1 召合せ 内締り錠の取り付け

### 2枚建

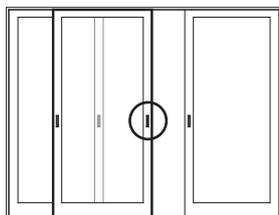


内障子

### 3枚建

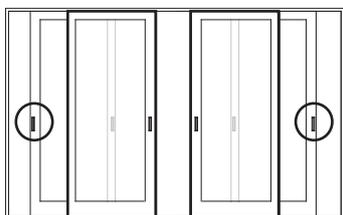


内障子



中央障子

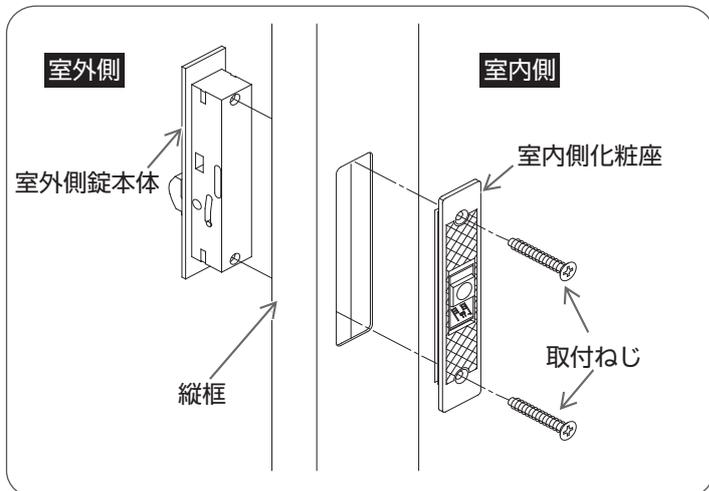
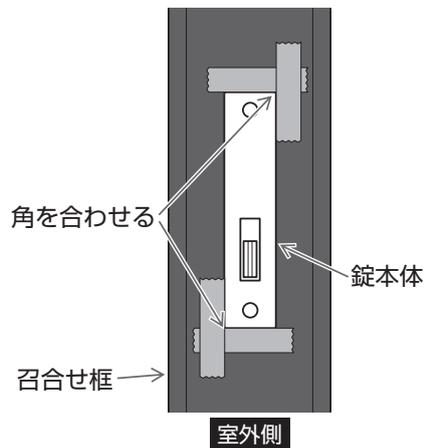
### 4枚建



左内障子

右内障子

- ①室内側より室内側化粧座、室外側より錠本体を取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。  
※室内側化粧座を取り付ける際、必ず作動軸を錠本体の角穴に差し込んでください。  
※取付ねじをしめる際、錠本体の角をセロハンテープの角に合わせてください。(下図参照)
- ②セロハンテープをはがす。



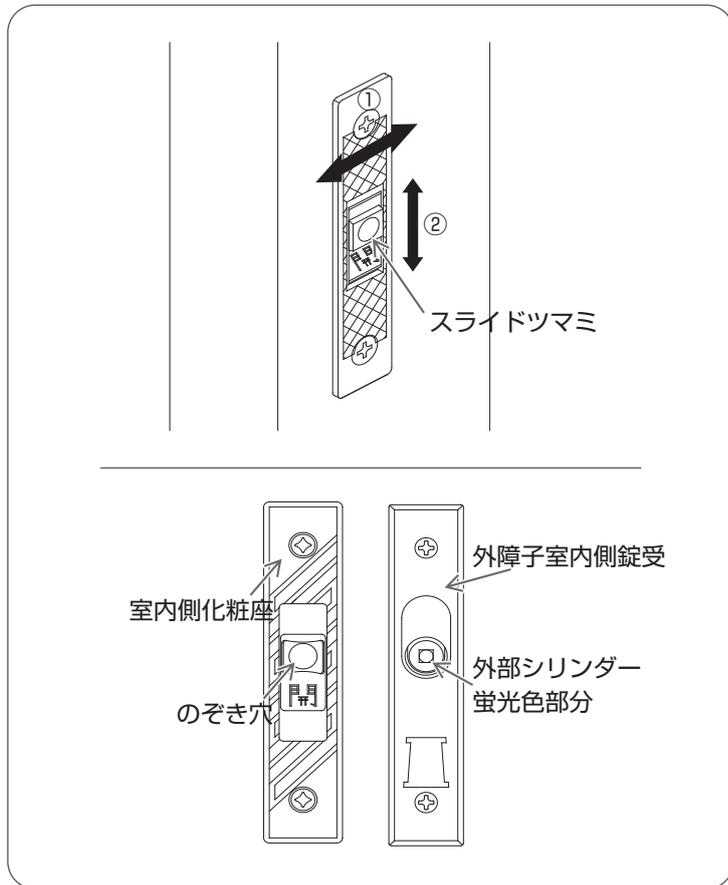
※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

## 部品の取り付け方

### お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをすることがあります。  
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

## 2 錠の調整



錠のかかりが悪い場合は、プラスドライバーで室内側化粧座の取付ねじをゆるめ、左右方向および上下方向に調整し、スライドツマミを動かして施解錠ができる場所で取付ねじをしめる。

①左右方向

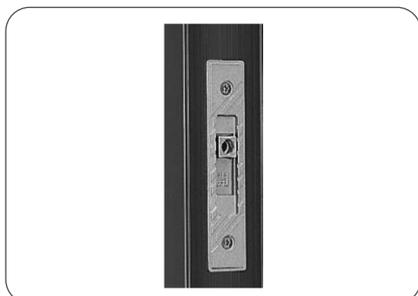
②左右方向で調整できない場合は上下方向

※上下調整する場合、左右に動かないように注意してください。

※外部シリンダー付の場合の調整のポイント

室内側化粧座の内部サムターンを「開」にし、透明な覗き穴から、外部シリンダーの蛍光部分が中心になるように調整すると、簡単に合わせることができます。

## 部品の交換後のチェック



- ①部品にガタつきがないことを確認してください。
- ②取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③スライドツマミを動かし、施解錠ができることを確認してください。
- ④取付ねじを強く締めると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。